ビジネス科学研究群
法学学位プログラム

(博士前期課程)

ビジネス科学研究群法学学位プログラム(博士前期課程・博士後期課程)令和7年度時間割

	月	火	水	木	金	土		
2時限 (10:20～ 11:35)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">春A</div> <div> 科目番号:0ADL 前期課程 科目番号:0BDL 後期課程 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 春A開講日 休業日 </div> </div> </div>					0ADL404 特許法Ⅱ 潮海 久雄 320	2時限 (10:20～ 11:35)	
3時限 (11:45～ 13:00)						0ADL404 特許法Ⅱ 潮海 久雄 320	3時限 (11:45～ 13:00)	
4時限 (13:45～ 15:00)						0ADL211 民事訴訟法 大淵 真喜子 119	0BDL806 現代知的財産法 潮海 久雄 320	4時限 (13:45～ 15:00)
5時限 (15:10～ 16:25)						0ADL211 民事訴訟法 大淵 真喜子 119		5時限 (15:10～ 16:25)
6時限 (16:35～ 17:50)						0ADL604 租税手続法 本田 光宏 119	6時限 (16:35～ 17:50)	
7時限 (18:20～ 19:35)						0ADL007 現代民法の基礎 小林 和子 117	0ADL503 労働関係法 川田 琢之 320	0ADL301 国際私法 藤澤 尚江 117
8時限 (19:45～ 21:00)	0ADL007 現代民法の基礎 小林 和子 117	0ADL503 労働関係法 川田 琢之 320	0ADL301 国際私法 藤澤 尚江 117	0ADL201 契約法Ⅰ 岡本 裕樹 119		8時限 (19:45～ 21:00)		

月	日	月	火	水	木	金	土
4月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
5月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
OAA1101	法文献学	春A	集中	法学学位プログラム各教員		春Aの申請期間
OADL009	損害賠償法	春学期	集中	小林 和子	8/21, 25, 28, 9/1, 4 7・8限	
OADL030	法と経済学	夏季	集中	飯田 高	9/17, 18, 19, 24, 25 7・8限	在学生向けサイトに掲載
OADL041	コーポレートガバナンス演習	夏季	備考欄参照	山中 利晃	8/2, 9, 23, 30, 9/13 1・2限	春Aの申請期間
OADL221	信託法	夏季	集中	伊庭 潔	8/2, 9, 23, 30, 9/13 4・5限	在学生向けサイトに掲載
OADL402	著作権法Ⅱ	夏季	集中	上沼 紫野	7/30, 8/6, 8/11, 8/13, 8/20, 8/27, 9/3, 9/10, 9/17, 9/24 7・8限	在学生向けサイトに掲載
博士後期科目						
OBDL812	情報法	春C・夏季	集中	髙大輔, 増田雅史, 羽深宏樹, 岡野智, 北山昇		在学生向けサイトに掲載
OBDL804	企業ノウハウと従業員	夏季	集中	川田 琢之, 潮海 久雄		

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
OAA1102	ビジネス法入門	通年	応談	法学学位プログラム各教員	2025年度は 大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開講日時は決定後、在学生サイトへ掲示。	在学生向けサイトに掲載
OADL216	商事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	木村 真生子、山中 利晃	原則として日曜日の10:00-12:00。具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載。	春Aの申請期間
OADL219	民事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	岡本 裕樹、小林 和子	開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示。	春Aの申請期間
OADL502	労働判例研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、渡邊 絹子	開講時間はすべて土曜日15:10-17:50。開講日はmanaba等で確認。	春Aの申請期間
OADL603	租税法研究Ⅱ	通年	応談	本田 光宏、栗原克文、松永真理子	開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
博士後期科目						
OBDL716	民事法特別研究Ⅰ	通年	応談	岡本 裕樹、小林 和子	3年毎に開講	春Aの申請期間
OBDL904	現代社会保障法	通年	応談	渡邊 絹子	春学期開始後に履修登録者と相談の上で年間の授業計画を決定する。	春Aの申請期間
OBDL909	労働判例特別研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、渡邊 絹子	開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

ビジネス科学研究群法学学位プログラム(博士前期課程・博士後期課程)令和7年度時間割

	月	火	水	木	金	土																																																																													
2時限 (10:20~11:35)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">春B</div> <div> 科目番号:0ADL 前期課程 科目番号:0BDL 後期課程 春B開講日 休業日 </div> </div>					※1限 8:55~10:10	0AD0101 コーポレートガバナンス*1時限目より 山中 利晃 432 0ADL404 特許法Ⅱ 潮海 久雄 320	2時限 (10:20~11:35)																																																																											
3時限 (11:45~13:00)						0ADL404 特許法Ⅱ 潮海 久雄 320	3時限 (11:45~13:00)																																																																												
4時限 (13:45~15:00)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>曜日</th> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">5月</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6月</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>29</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							曜日	日	月	火	水	木	金	土	5月	④	⑤	⑥	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29	30						0ADL211 民事訴訟法 大淵 真喜子 119 0BDL714 民事法上級演習Ⅰ 岡本 裕樹 320	4時限 (13:45~15:00)
曜日	日	月	火	水	木	金	土																																																																												
5月	④	⑤	⑥	7	8	9	10																																																																												
	11	12	13	14	15	16	17																																																																												
	18	19	20	21	22	23	24																																																																												
	25	26	27	28	29	30	31																																																																												
6月	1	2	3	4	5	6	7																																																																												
	8	9	10	11	12	13	14																																																																												
	15	16	17	18	19	20	21																																																																												
	22	23	24	25	26	27	28																																																																												
	29	30																																																																																	
5時限 (15:10~16:25)								0ADL211 民事訴訟法 大淵 真喜子 119 0BDL714 民事法上級演習Ⅰ 岡本 裕樹 320	5時限 (15:10~16:25)																																																																										
6時限 (16:35~17:50)								0ADL604 租税手続法 本田 光宏 119	6時限 (16:35~17:50)																																																																										
7時限 (18:20~19:35)	0ADL048 憲法演習 鈴木 繁元 320	0ADL503 労働関係法 川田 琢之 320	0ADL301 国際私法 藤澤 尚江 117	0ADL208 会社法 木村 真生子 119	0BDL630 国際租税計画Ⅲ 栗原 克文 119		7時限 (18:20~19:35)																																																																												
8時限 (19:45~21:00)	0ADL202 契約法Ⅱ 岡本 裕樹 119	0ADL601 実務租税法 栗原 克文 119	0ADL504 社会保障法 渡邊 絹子 320	0ADL605 租税計画Ⅰ 松永 真理子 117	0BDL907 市場経済と独占禁止法 平山 賢太郎 320		8時限 (19:45~21:00)																																																																												

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
OADL009	損害賠償法	春学期	集中	小林 和子	8/21, 25, 28, 9/1, 4 7・8限	
OADL030	法と経済学	夏季	集中	飯田 高	9/17, 18, 19, 24, 25 7・8限	在学生向けサイトに掲載
OADL041	コーポレートガバナンス演習	夏季	備考欄参照	山中 利晃	8/2, 9, 23, 30, 9/13 1・2限	春Aの申請期間
OADL217	支払決済法	春B	月7・8	弥永 真生	5/26, 6/2, 9, 16, 23 7・8限	
OADL221	信託法	夏季	集中	伊庭 潔	8/2, 9, 23, 30, 9/13 4・5限	在学生向けサイトに掲載
OADL402	著作権法Ⅱ	夏季	集中	上沼 紫野	7/30, 8/6, 8/11, 8/13, 8/20, 8/27, 9/3, 9/10, 9/17, 9/24 7・8限	在学生向けサイトに掲載
博士後期科目						
OBDL812	情報法	春C・夏季	集中	篤大輔, 増田雅史, 羽深宏樹, 岡野智, 北山昇		在学生向けサイトに掲載
OBDL804	企業ノウハウと従業員	夏季	集中	川田 琢之, 潮海 久雄		

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
OAA1102	ビジネス法入門	通年	応談	法学学位プログラム各教員	2025年度は 大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開講日時は決定後、在学生サイトへ掲示。	在学生向けサイトに掲載
OADL216	商事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	木村 真生子、山中 利晃	原則として日曜日の10:00-12:00。具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載。	春Aの申請期間
OADL219	民事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	岡本 裕樹、小林 和子	開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示。	春Aの申請期間
OADL502	労働判例研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、渡邊 絹子	開講時間はすべて土曜日15:10-17:50。開講日はmanaba等で確認。	春Aの申請期間
OADL603	租税法研究Ⅱ	通年	応談	本田 光宏、栗原克文、松永真理子	開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
博士後期科目						
OBDL716	民事法特別研究Ⅰ	通年	応談	岡本 裕樹、小林 和子	3年毎に開講	春Aの申請期間
OBDL904	現代社会保障法	通年	応談	渡邊 絹子	春学期開始後に履修登録者と相談の上で年間の授業計画を決定する。	春Aの申請期間
OBDL909	労働判例特別研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、渡邊 絹子	開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

ビジネス科学研究群法学学位プログラム(博士前期課程・博士後期課程)令和7年度時間割

	月	火	水	木	金	土																																																																																		
2時限 (10:20~11:35)	春C 科目番号:0ADL 前期課程 科目番号:0BDL 後期課程 春C開講日 休業日						0ADL406 商標法 潮海 久雄 320 0ADL606 国際課税法 I 本田 光宏 119	2時限 (10:20~11:35)																																																																																
							0BDL708 国際会社法 * 1時限目より 山中 利晃 432																																																																																	
3時限 (11:45~13:00)	<table border="1"> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">6月</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">7月</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						月	日	月	火	水	木	金	土	6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						7月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			0ADL406 商標法 潮海 久雄 320 0ADL606 国際課税法 I 本田 光宏 119	3時限 (11:45~13:00)
							月	日	月	火	水	木	金	土																																																																										
							6月	1	2	3	4	5	6	7																																																																										
								8	9	10	11	12	13	14																																																																										
								15	16	17	18	19	20	21																																																																										
22	23	24	25	26	27	28																																																																																		
29	30																																																																																							
7月			1	2	3	4	5																																																																																	
	6	7	8	9	10	11	12																																																																																	
	13	14	15	16	17	18	19																																																																																	
	20	21	22	23	24	25	26																																																																																	
	27	28	29	30	31																																																																																			
0BDL903 比較労働法の基礎 I 川田 琢之 434																																																																																								
0BDL806 現代知的財産法 潮海 久雄 320																																																																																								
0BDL903 比較労働法の基礎 I 川田 琢之 434																																																																																								
4時限 (13:45~15:00)								4時限 (13:45~15:00)																																																																																
5時限 (15:10~16:25)																																																																																								
6時限 (16:35~17:50)								6時限 (16:35~17:50)																																																																																
7時限 (18:20~19:35)																																																																																								
8時限 (19:45~21:00)								8時限 (19:45~21:00)																																																																																
	月	火	水	木	金																																																																																			
7時限 (18:20~19:35)		0ADL033 憲法 鈴木 繁元 320	0ADL503 労働関係法 川田 琢之 320	0ADL301 国際私法 藤澤 尚江 117	0ADL208 会社法 木村 真生子 119			7時限 (18:20~19:35)																																																																																
		0ADL044 民法演習 I 小林 和子 117	0ADL601 実務租税法 栗原 克文 119	0ADL504 社会保障法 渡邊 絹子 320																																																																																				
8時限 (19:45~21:00)		0ADL033 憲法 鈴木 繁元 320	0ADL503 労働関係法 川田 琢之 320	0ADL301 国際私法 藤澤 尚江 117	0ADL208 会社法 木村 真生子 119			8時限 (19:45~21:00)																																																																																
		0ADL044 民法演習 I 小林 和子 117	0ADL601 実務租税法 栗原 克文 119	0ADL504 社会保障法 渡邊 絹子 320																																																																																				

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
0ADL009	損害賠償法	春学期	集中	小林 和子	8/21, 25, 28, 9/1, 4	7・8限
0ADL030	法と経済学	夏季	集中	飯田 高	9/17, 18, 19, 24, 25	7・8限 在学生向けサイトに掲載
0ADL041	コーポレートガバナンス演習	夏季	備考欄参照	山中 利晃	8/2, 9, 23, 30, 9/13	1・2限 春Aの申請期間
0ADL221	信託法	夏季	集中	伊庭 潔	8/2, 9, 23, 30, 9/13	4・5限 在学生向けサイトに掲載
0ADL402	著作権法 II	夏季	集中	上沼 紫野	7/30, 8/6, 8/11, 8/13, 8/20, 8/27, 9/3, 9/10, 9/17, 9/24	7・8限 在学生向けサイトに掲載
博士後期科目						
0BDL812	情報法	春C・夏季	集中	萬大輔, 増田雅史, 羽深宏樹, 岡野智, 北山昇		在学生向けサイトに掲載
0BDL804	企業ノウハウと従業員	夏季	集中	川田 琢之, 潮海 久雄		

応談

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
0AA1102	ビジネス法入門	通年	応談	法学学位プログラム各教員	2025年度は、大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開講日時は決定後、在学生サイトへ掲示。	在学生向けサイトに掲載
0ADL216	商事法研究 II	通年	備考欄参照	木村 真生子, 山中 利晃	原則として日曜日の10:00-12:00。具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載。	春Aの申請期間
0ADL219	民事法研究 II	通年	備考欄参照	岡本 裕樹, 小林 和子	開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示。	春Aの申請期間
0ADL502	労働判例研究 II	通年	応談	川田 琢之, 渡邊 絹子	開講時間はすべて土曜日15:10-17:50。開講日はmanaba等で確認。	春Aの申請期間
0ADL603	租税法研究 II	通年	応談	本田 光宏, 栗原克文, 松永真理子	開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
博士後期科目						
0BDL716	民事法特別研究 I	通年	応談	岡本 裕樹, 小林 和子	3年毎に開講	春Aの申請期間
0BDL904	現代社会保障法	通年	応談	渡邊 絹子	春学期開始後に履修登録者と相談の上で年間の授業計画を決定する。	春Aの申請期間
0BDL909	労働判例特別研究 II	通年	応談	川田 琢之, 渡邊 絹子	開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

ビジネス科学研究群法学学位プログラム(博士前期課程・博士後期課程)令和7年度時間割

	月	火	水	木	金	土	
2時限 (10:20~11:35)	秋A 科目番号:0ADL 前期課程 科目番号:0BDL 後期課程 秋A開講日 休業日					0ADL410 ライセンス契約法 潮海 久雄 320	2時限 (10:20~11:35)
						0ADL607 国際課税法Ⅱ 本田 光宏 119	
3時限 (11:45~13:00)	※1限 8:55~10:10					0BDL712 比較会社法*1時限目より 山中 利晃 432	3時限 (11:45~13:00)
						0ADL018 知的財産法演習 潮海 久雄 320	
4時限 (13:45~15:00)	10月 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31					0ADL607 国際課税法Ⅱ 本田 光宏 119	4時限 (13:45~15:00)
						0ADL226 事業承継法 園部 高橋,鶴巻,伊庭,仲 119	
5時限 (15:10~16:25)	11月 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30					0ADL226 事業承継法 園部 高橋,鶴巻,伊庭,仲 119	5時限 (15:10~16:25)
						0ADL608 租税争訟法 栗原 克文 119	
6時限 (16:35~17:50)	月	火	水	木	金	土	7時限 (18:20~19:35)
	0ADL204 不動産法 岡本 裕樹 119	0ADL042 租税法演習 栗原 克文 119	0ADL304 ヨーロッパ契約法 小林 和子 117	0ADL008 現代商法の基礎 木村 真生子 119	0BDL631 国際租税計画IV 本田 光宏 119		
	0ADL214 倒産処理法 大淵 真喜子 320	0ADL506 企業の組織・活動と労働法 川田 琢之 320	0ADL225 保険法 武田 涼子	0ADL505 独占禁止法Ⅰ 平山 賢太郎 117			
			0BDL610 ドイツ民事訴訟法 大淵 真喜子 320				
8時限 (19:45~21:00)	0ADL204 不動産法 岡本 裕樹 119	0ADL016 労働法演習Ⅰ 川田 琢之 320	0ADL304 ヨーロッパ契約法 小林 和子 117	0ADL008 現代商法の基礎 木村 真生子 119	0ADL505 独占禁止法Ⅰ 平山 賢太郎 117	8時限 (19:45~21:00)	
	0ADL214 倒産処理法 大淵 真喜子 320		0ADL225 保険法 武田 涼子				
			0BDL610 ドイツ民事訴訟法 大淵 真喜子 320				

集中

科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
0ADL207	債権保全・回収法	秋学期	集中	小林 和子		秋Aの申請期間
0ADL405	不正競争防止法	秋学期	集中	相良 由里子	日程は確定次第、在学生向けサイトに掲載	在学生向けサイトに掲載
博士前期科目						
0ADL010	社会保障法演習	秋学期	応談	渡邊 絹子	労働判例研究と同日3・4時限に開講	秋Aの申請期間
0AA1102	ビジネス法入門	通年	応談	法学学位プログラム各教員	2025年度は 大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開催日時は決定後、在学生サイトへ掲示。	在学生向けサイトに掲載
0ADL216	商事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	木村 真生子、山中 利晃	原則として日曜日の10:00-12:00。具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載。	春Aの申請期間
0ADL219	民事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	岡本 裕樹、小林 和子	開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示。	春Aの申請期間
0ADL502	労働判例研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、渡邊 絹子	開講時間はすべて土曜日15:10-17:50。開講日はmanaba等で確認。	春Aの申請期間
0ADL603	租税法研究Ⅱ	通年	応談	本田 光宏、栗原克文、松永真理子	開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
博士後期科目						
0BDL608	国際取引と国際私法	秋学期	応談	藤澤 尚江	授業日程は履修登録者と相談の上で決定する	秋Aの申請期間
0BDL716	民事法特別研究Ⅰ	通年	応談	岡本 裕樹、小林 和子	3年毎に開講	春Aの申請期間
0BDL904	現代社会保障法	通年	応談	渡邊 絹子	春学期開始後に履修登録者と相談の上で年間の授業計画を決定する。	春Aの申請期間
0BDL909	労働判例特別研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、渡邊 絹子	開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

ビジネス科学研究群法学学位プログラム(博士前期課程・博士後期課程)令和7年度時間割

	月	火	水	木	金		
2時限 (10:20～ 11:35)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">秋B</div> <div> 科目番号:0ADL 前期課程 科目番号:0BDL 後期課程 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 秋B開講日 休業日 </div> </div> </div>					0ADL410 ライセンス契約法 潮海 久雄 320	2時限 (10:20～ 11:35)
3時限 (11:45～ 13:00)						0ADL018 知的財産法演習 潮海 久雄 320	3時限 (11:45～ 13:00)
4時限 (13:45～ 15:00)						0ADL023 租税計画演習 松永 真理子 119	4時限 (13:45～ 15:00)
5時限 (15:10～ 16:25)						0ADL045 民法演習Ⅱ 岡本 裕樹 117	5時限 (15:10～ 16:25)
6時限 (16:35～ 17:50)						0ADL045 民法演習Ⅱ 岡本 裕樹 117	6時限 (16:35～ 17:50)
						0ADL028 独占禁止法演習 平山 賢太郎 117	6時限 (16:35～ 17:50)
	0ADL608 租税争訟法 栗原 克文 119						
7時限 (18:20～ 19:35)	0ADL204 不動産法 岡本 裕樹 119	0ADL042 租税法演習 栗原 克文 119	0ADL021 民事手続法演習Ⅰ 大淵 真喜子 320	0ADL210 金融商品取引法 木村 真生子 119	0ADL028 独占禁止法演習 平山 賢太郎 117	7時限 (18:20～ 19:35)	
	0ADL214 倒産処理法 大淵 真喜子 320	0ADL506 企業の組織・活動と労働法 川田 琢之 320	0ADL305 国際民事訴訟法 藤澤 尚江 117	0ADL505 独占禁止法Ⅰ 平山 賢太郎 117	0BDL631 国際租税計画Ⅳ 本田 光宏 119		
8時限 (19:45～ 21:00)	0ADL204 不動産法 岡本 裕樹 119	0ADL016 労働法演習Ⅰ 川田 琢之 320	0ADL021 民事手続法演習Ⅰ 大淵 真喜子 320	0ADL210 金融商品取引法 木村 真生子 119		8時限 (19:45～ 21:00)	
	0ADL214 倒産処理法 大淵 真喜子 320		0ADL305 国際民事訴訟法 藤澤 尚江 117	0ADL505 独占禁止法Ⅰ 平山 賢太郎 117			

集中						
科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
0ADL207	債権保全・回収法	秋学期	集中	小林 和子		秋Aの申請期間
0ADL405	不正競争防止法	秋学期	集中	相良 由里子	日程は確定次第、在学生向けサイトに掲載	在学生向けサイトに掲載
博士前期科目						
0ADL010	社会保障法演習	秋学期	応談	渡邊 絹子	労働判例研究と同日3・4時限に開講	秋Aの申請期間
0AA1102	ビジネス法入門	通年	応談	法学学位プログラム各教員	2025年度は 大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開催日時は決定後、在学生サイトへ掲示。	在学生向けサイトに掲載
0ADL216	商事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	木村 真生子、 山中 利晃	原則として日曜日の10:00-12:00。具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載。	春Aの申請期間
0ADL219	民事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	岡本 裕樹、 小林 和子	開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示。	春Aの申請期間
0ADL502	労働判例研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、 渡邊 絹子	開講時間はすべて土曜日15:10-17:50。開講日はmanaba等で確認。	春Aの申請期間
0ADL603	租税法研究Ⅱ	通年	応談	本田 光宏、栗原克文、 松永真理子	開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間
博士後期科目						
0BDL608	国際取引と国際私法	秋学期	応談	藤澤 尚江	授業日程は履修登録者と相談の上で決定する	秋Aの申請期間
0BDL716	民事法特別研究Ⅰ	通年	応談	岡本 裕樹、 小林 和子	3年毎に開講	春Aの申請期間
0BDL904	現代社会保障法	通年	応談	渡邊 絹子	春学期開始後に履修登録者と相談の上で年間の授業計画を決定する。	春Aの申請期間
0BDL909	労働判例特別研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、 渡邊 絹子	開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載。	春Aの申請期間

ビジネス科学研究群法学学位プログラム(博士前期課程・博士後期課程)令和7年度時間割

	月	火	水	木	金	土	
2時限 (10:20～ 11:35)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">秋C</div> <div> 科目番号:0ADL 前期課程 科目番号:0BDL 後期課程 秋C開講日 休業日 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> ※1限 8:55～10:10 </div>					0ADL102 コーポレートファイナンス*1時限目より 山中 利晃 117	2時限 (10:20～ 11:35)
3時限 (11:45～ 13:00)						0BDL807 欧米知的財産法 潮海 久雄 320	3時限 (11:45～ 13:00)
4時限 (13:45～ 15:00)						0BDL713 法とファイナンス 山中 利晃 432	4時限 (13:45～ 15:00)
5時限 (15:10～ 16:25)						0BDL713 法とファイナンス 山中 利晃 432	5時限 (15:10～ 16:25)
6時限 (16:35～ 17:50)						0ADL306 応用独占禁止法 平山 賢太郎 320	6時限 (16:35～ 17:50)
7時限 (18:20～ 19:35)						0ADL306 応用独占禁止法 平山 賢太郎 320	7時限 (18:20～ 19:35)
8時限 (19:45～ 21:00)	0ADL306 応用独占禁止法 平山 賢太郎 320	8時限 (19:45～ 21:00)					

曜日	日	月	火	水	木	金	土
12月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
1月					①	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	⑫	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

集中						
科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
0ADL207	債権保全・回収法	秋学期	集中	小林 和子		秋Aの申請期間
0ADL405	不正競争防止法	秋学期	集中	相良 由里子	日程は確定次第、在学生向けサイトに掲載	在学生向けサイトに掲載
博士後期科目						
0BDL613	アメリカ会社法	秋C・春季	集中	萬澤 陽子	1/30, 2/6, 13, 20, 27 7・8限	秋Cの申請期間

応談						
科目番号	科目名	実施学期	曜時限	担当教員	備考	履修申請期間
博士前期科目						
0ADL010	社会保障法演習	秋学期	応談	渡邊 絹子	労働判例研究と同日3・4時限に開講	秋Aの申請期間
0AA1102	ビジネス法入門	通年	応談	法学学位プログラム各教員	2025年度は 大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開催日時は決定後、在学生向けサイトに掲載	在学生向けサイトに掲載
0ADL216	商事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	木村 真生子、 山中 利晃	原則として日曜日の10:00-12:00。具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載	春Aの申請期間
0ADL219	民事法研究Ⅱ	通年	備考欄参照	岡本 裕樹、 小林 和子	開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示	春Aの申請期間
0ADL502	労働判例研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、 渡邊 絹子	開講時間はすべて土曜日15:10-17:50。開講日はmanaba等で確認	春Aの申請期間
0ADL603	租税法研究Ⅱ	通年	応談	本田 光宏、栗原克文、 松永真理子	開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載	春Aの申請期間
博士後期科目						
0BDL608	国際取引と国際私法	秋学期	応談	藤澤 尚江	授業日程は履修登録者と相談の上で決定する	秋Aの申請期間
0BDL716	民事法特別研究Ⅰ	通年	応談	岡本 裕樹、 小林 和子	3年毎に開講	春Aの申請期間
0BDL904	現代社会保障法	通年	応談	渡邊 絹子	春学期開始後に履修登録者と相談の上で年間の授業計画を決定する	春Aの申請期間
0BDL909	労働判例特別研究Ⅱ	通年	応談	川田 琢之、 渡邊 絹子	開講時間はすべて15:10-17:50。開講日は専攻HPに掲載	春Aの申請期間

2. 人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 法学学位プログラム 博士前期課程

① 開設授業科目

ア 学術院共通専門基盤科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAA1101	法文献学	1	1.0	1・2	春A	集中		法学学位プログラム各教員	本講義では、法令・判例・文献のリサーチ方法およびリサーチに必要な基本的な知識を正確に身に付けることができるよう、各ツールを比較・評価しながら例題を混ぜて講義する。リサーチのほか、先行研究の引用作法についても解説する。	
OAA1102	ビジネス法入門	1	1.0	1・2	通年	応談		法学学位プログラム各教員	ビジネスをはじめとした多様な社会現象から解決されるべき法的課題を発見・設定して、自らの視点で研究を遂行する基礎となる、法的専門知識と思考方法の基本及び研究作法を体得する。	2025年度は、大淵、岡本、小林、潮海、平山、藤澤が担当。開講日は決定後、在学生サイトへ掲示。
OAA1501	トップレクチャーⅠ	1	1.0	1・2						経営学学位プログラム(博士前期課程)非常勤講師
OAA1502	トップレクチャーⅡ	1	1.0	1・2						経営学学位プログラム(博士前期課程)非常勤講師
OAA3	哲学プラクティスA									筑波キャンパス開講
OAA3	哲学プラクティスB									筑波キャンパス開講
OAA3	言語対照論									筑波キャンパス開講
OAA3	言語資料論									筑波キャンパス開講
OAA3	文献資料学									筑波キャンパス開講
OAA3	比較文学									筑波キャンパス開講
OAA3	表象文化論									筑波キャンパス開講
OAA3	現代文化学基礎Ⅰ									筑波キャンパス開講
OAA3	現代文化学基礎Ⅱ									筑波キャンパス開講
OAA3	国際公共政策論									筑波キャンパス開講
OAA3	日本政治と市民社会Ⅰ									筑波キャンパス開講
OAA3	Japan's Politics and Civil SocietyⅠ									筑波キャンパス開講
OAA3	環境とマクロ経済学Ⅰ									筑波キャンパス開講
OAA3	The Environment and MacroeconomicsⅠ									筑波キャンパス開講
OAA3	地域研究論									筑波キャンパス開講

イ 研究群共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAD0101	コーポレートガバナンス	1	1.0	1・2	春B	土1,2	432	山中 利晃	上場会社を念頭に、コーポレートガバナンスをめぐる諸問題を日本の会社法に即して取り上げ、検討する。必要に応じ、外国法(アメリカ法、イギリス法およびドイツ法)や実証分析の状況にも言及する。講義形式で授業を進める。	
OAD0102	コーポレート・ファイナンス	1	1.0	1・2	秋C	土1,2	117	山中 利晃	上場会社を念頭に、コーポレート・ファイナンスをめぐる諸問題を日本の会社法に即して取り上げ、検討する。必要に応じ、ファイナンス分野における考え方や実証分析の状況等にも言及する。講義形式で授業を進める。	
OAD5001	経営基礎	1	1.0	1					経営学とマーケティングの全体像を理論と実務を関連付けながら示した上で、経営戦略論と経営組織論、そしてマーケティングの基礎概念と基本枠組みについて講義形式で概説する。	経営学学位プログラム(博士前期課程)
OAD5002	会計基礎	1	1.0	1					簿記と会計の基本について講義する。具体的には、日常の経済活動を会計的に記録することから始まり、決算を行って貸借対照表と損益計算書を作成する一連の作業の意義が理解できることを目標とする。そして最後に、財務諸表をどのような形で活かすか(財務諸表分析)を解説・実践する。これによって、ビジネスの中で簿記・会計がどのように扱われているのかを学習する。なお、講義内では、演習問題を配布し、各論点の解説を行った後、その問題を解いてもらうことで理解を深めてもらう。また、講義の最終日に理解度を確認するテストの実施を予定している。	経営学学位プログラム(博士前期課程)

※詳細は経営学学位プログラムの時間割を参照してください。

ウ 法学関連科目（共通専門科目）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL001	企業法学特別研究 I	2	1.0	1	通年	随時		法学学位プログラム各教員	各専任教員が指導学生に対して、各人の関心に合わせた研究計画の立て方や、重点的な履修の内容・方法に対してアドバイス・指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は1年次の春A期間。
OADL002	企業法学特別研究 II	2	1.0	1	通年	随時		法学学位プログラム各教員	各専任教員が指導学生に対して、研究企画の具体化や、そのための作業の進め方などについて指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は1年次の春A期間。
OADL003	企業法学特別研究 III	2	1.0	1	通年	随時		法学学位プログラム各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の骨子の作成や、論文作成に向けての文献の調査・消化方法などについて、計画の進捗度合いに応じて指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は1年次の春A期間。
OADL004	企業法学特別研究 IV	2	1.0	2	通年	随時		法学学位プログラム各教員	各専任教員が指導学生に対して、各人の研究計画に合わせた修士論文の草稿の作成や、中間報告会に向けた準備のための指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は2年次の春A期間。
OADL005	企業法学特別研究 V	2	1.0	2	通年	随時		法学学位プログラム各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の草稿の完成および最終原稿の作成に向けての指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は2年次の春A期間。
OADL006	企業法学特別研究 VI	2	1.0	2	通年	随時		法学学位プログラム各教員	各専任教員が指導学生に対して、修士論文の最終原稿の完成に向けて、表現や文献表記など最終段階としての指導を行う。	主専攻必修科目 履修申請は2年次の春A期間。
OADL007	現代民法の基礎	1	1.0	1	春A	火7,8	117	小林 和子	民法総則に関する基礎的な知識や理解を得ることを目標とし、人(自然人)、法人、法律行為、代理、条件・期限、時効について講義をする。必要に応じて物権法・債権法にも言及する。関連する最新の裁判例・判例についても取り上げる。	
OADL008	現代商法の基礎	1	1.0	1・2	秋A	金7,8	119	木村 真生子	商法総則・会社法総則及び商取引法の重要な論点を取り上げ、「取引の安全」「営利性」「外観主義」といった商法を支える特徴的な概念について理解を深めることを目的とする。具体的には、商人・商行為の概念、商業登記、企業形態、商号、商業使用人、営業譲渡などの各論点についてみていく。	
OADL009	損害賠償法	1	1.0	1・2	春学期	集中		小林 和子	不法行為についての基礎的な知識や理解を得ることを目標とし、不法行為の一般的要件、不法行為の効果、特殊な不法行為責任、契約責任と不法行為責任について講義する。関連する最新の裁判例・判例についても取り上げる。	西暦奇数年度開講 8/21, 25, 28, 9/1, 4 7・8限
OADL010	社会保障法演習	2	1.0	1・2	秋学期	応談		渡邊 絹子	社会保障法における主要な判例や近時の注目裁判例、最近のトピックを取り上げ、判例研究や文献講読を行い、参加者全員による議論を通じて、重要な論点についての理解を深める。各回は、報告担当者を決め、その報告をもとに参加者全員で議論する。授業は演習形式で行う。	労働判例研究同日3・4時限に開講
OADL011	金融商品取引法演習	2	1.0	1・2	秋C	金7,8	432	木村 真生子	金融商品取引法分野における重要または最新のトピックについて、判例研究や文献講読などの方法により演習を行う。各回報告担当者を決め、その報告をもとに参加者全員で議論する。修士論文の作成に向け、研究へのアプローチ方法についても学ぶ。	西暦奇数年度開講
OADL015	国際私法演習	2	1.0	1・2	秋C	木7,8	117	藤澤 尚江	国際私法の基礎概念や基本的な発想になじむことを主な目的とする。 国際私法、国際民事訴訟法の基礎的知識がある程度修得されていることを前提とするが、本演習においても基礎的知識の再確認を行う。 授業では、基本書・判例集を用い、受講者同士のディスカッションを中心に行っていく。	
OADL016	労働法演習 I	2	1.0	1・2	秋AB	水8	320	川田 琢之	報告者が選択した労働法に関わるテーマについて報告と参加者による質疑・討論を行う。参加者各自が関心を有する労働法上の問題について、報告・討論を通じて理解を深めるとともに、他の参加者の報告とそれについての討論を通じて現代の労働法における代表的な問題・課題についての理解を広げる。労働法演習Ⅱと共通コンセプトの科目であるが、報告テーマは前年度の労働法演習Ⅱとの重複を避けつつ出席者の問題関心に応じた形で選定する結果、毎年異なるものとなるので、具体的な授業内容は労働法演習Ⅱとは異なったものとなる。 授業は演習形式で行う。	西暦奇数年度開講
OADL017	労働法演習 II	2	1.0	1・2				川田 琢之	報告者による報告と参加者による質疑・討論を行い、参加者各自が関心を有する労働法上の問題について報告・討論を通じて理解を深めるとともに、他の参加者の報告とそれについての討論を通じて現代の労働法における代表的な問題・課題についての理解を広げる。労働法に関する実務上重要な問題・課題の中から、参加者にテーマを選択して報告をもらい、当該報告をもとに質疑・討論を演習形式で行う。労働法演習Ⅰと共通コンセプトの科目であるが、報告テーマは前年度の労働法演習Ⅰとの重複を避けつつ出席者の問題関心に応じた形で選定する結果、毎年異なるものとなるので、具体的な授業内容は労働法演習Ⅰとは異なったものとなる。	西暦偶数年度開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL018	知的財産法演習	2	1.0	1・2	秋AB	土3	320	潮海 久雄	知的財産法(特許法・著作権法・商標法・不正競争防止法・意匠法など)の重要なテーマについて演習を行う。ケーススタディや文献講読などの方法により、裁判例・学説の基礎的な理解を深めるとともに、裁判例分析や研究報告の基礎を身に付けることを目的とする。	受講者は特に制限しないが、裁判例・文献を読んでもらうこと。
OADL021	民事手続法演習 I	2	1.0	1・2	秋B	木7,8	320	大淵 真喜子	民事手続法分野における重要な問題について、判例研究ないし外国文献講読などの方法により演習を行う。年度によって取り上げる法分野が異なることがある。外国の民事手続に関する基礎的な英語文献を講読して、それらの基本的知識の習得を目的とする。報告担当者が講読予定部分をあらかじめ邦訳したレジュメをメールによって事前に受講者全員に配布し、各受講者においてこれを検討することを前提として、受講者全員で疑問点等につき討議を行う。年度によって、判例研究ないし外国文献講読のいずれであるかは異なる。	西暦奇数年度開講
OADL022	民事手続法演習 II	2	1.0	1・2				大淵 真喜子	民事手続法分野における重要な問題について、判例研究ないし外国文献講読などの方法により演習を行う。年度によって取り上げる法分野が異なることがある。外国の民事手続に関する基礎的な英語文献を講読して、それらの基本的知識の習得を目的とする。報告担当者が講読予定部分をあらかじめ邦訳したレジュメをメールによって事前に受講者全員に配布し、各受講者においてこれを検討していることを前提として、受講者全員で疑問点等につき討議を行う。年度によって、判例研究ないし外国文献講読のいずれであるかは異なる。	西暦偶数年度開講
OADL023	租税計画演習	2	1.0	1・2	秋B	土2,3	119	松永 真理子	租税計画を学ぶ上で最近の重要判例、文献等について、演習形式で学習する。	
OADL024	会社法演習	2	1.0	1・2				木村 真生子	会社法分野における重要または最新のトピックについて、判例研究や文献講読などの方法により演習を行う。各回報告担当者を決め、その報告をもとに参加者全員で議論する。修士論文の作成に向け、研究へのアプローチ方法についても学ぶ。	西暦偶数年度開講
OADL027	親族法	1	1.0	1・2					民法の親族法の全容について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL028	独占禁止法演習	2	1.0	1・2	秋B	土6,7	117	平山 賢太郎	独占禁止法分野における審判決等について、受講生が報告を担当し、他の受講生及び担当教員と質疑・討論を行う。	
OADL029	英米法 I	1	1.0	1・2					本講義では、英米法の基礎的な概念及びアメリカ合衆国の構造やその中での裁判所の役割について学ぶ。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL030	法と経済学	1	1.0	1・2	夏季	集中		飯田 高	経済学は、法的ルールが人々の行動に及ぼす影響を理解するための重要な分析ツールを提供してくれます。この講義では、民法の基礎的な分野(所有権法、契約法、不法行為法)に関する経済分析を概観します。本講義を受講するにあたって、経済学の予備知識は特に必要ありません。	非常勤講師 9/17, 18, 19, 24, 25 7・8限
OADL031	個人情報保護法	1	1.0	1・2					個人情報保護法のうち、事業者が負担する義務の内容を法令およびガイドライン等に即して検討するとともに、個人情報保護委員会による監督を中心とするエンフォースメントについても概観する。	非常勤講師
OADL033	憲法	1	1.0	1・2	春C	火7,8	320	鈴木 繁元	企業・団体関係における現代的諸課題を念頭に置きつつ、憲法の基礎理論を説明する。	
OADL034	行政法	1	1.0	1・2	秋C	火7,8	320	鈴木 繁元	この授業では日本の行政法の基本的事項に関する講義を行う。講義の内容として、行政法の基本原則、行政過程における諸種の行為形式、行政手続を含む。	
OADL035	企業法学特殊講義 I	1	1.0	1・2					企業に関する法の諸問題について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL036	企業法学特殊講義 II	1	1.0	1・2					企業に関する法の諸問題について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL037	企業法学特殊講義 III	1	1.0	1・2					企業に関する法の諸問題について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL038	企業法学特殊講義 IV	1	1.0	1・2					企業に関する法の諸問題について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL039	企業法学特殊講義 V	1	1.0	1・2					企業に関する法の諸問題について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL040	企業法学特殊講義 VI	1	1.0	1・2					企業に関する法の諸問題について講義する。	非常勤講師 2025年度開講せず

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL041	コーポレートガバナンス演習	2	1.0	1・2	夏季	備考欄参照	432	山中 利晃	コーポレートガバナンスに関するトピックを掘り下げて検討する。各回報告担当者を決め、その報告をもとに参加者全員で議論する。修士論文の執筆に向けたアプローチについても理解を深める。	8/2, 9, 23, 30, 9/13, 1, 2限
OADL042	租税法演習	2	1.0	1・2	秋AB	水7	119	栗原 克文	租税法を学ぶ上で最近の重要判例、文献等について、演習形式で学習する。	
OADL043	上級法文献学	2	1.0	1・2				弥永 真生, 法学学位プログラム(博士前期課程)各教員	本講義では、博士後期課程への進学希望者を主な対象として、比較法研究の意義を理解し、受講者の選択する外国法(英・米・独・仏)における法令・判例・文献のリサーチ方法、リサーチに必要な基本的な知識及び文献引用方法を正確に身に付けたいという目的を達成することを目的とする。	2025年度開講せず
OADL044	民法演習 I	2	1.0	1・2	春C	火7,8	117	小林 和子	民法総則・物権総論の分野をはじめとする民法全般における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。民事法の観点から取引上の法的問題を検討し、議論状況を理解することで、民法の知識を深めるとともに、裁判例分析や研究報告の基礎を身に付けることを目標とする。毎回、報告担当者を決め、その者による報告をもとに、受講生全員で議論を行う。	西暦奇数年度開講
OADL045	民法演習 II	2	1.0	1・2	秋B	土4,5	117	岡本 裕樹	契約法・不法行為法の分野をはじめとする民法全般における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。民事法の観点から取引上の法的問題を検討し、議論状況を理解することで、民法の知識を深めるとともに、裁判例分析や研究報告の基礎を身に付けることを目標とする。毎回、報告担当者を決め、その者による報告をもとに、受講生全員で議論を行う。	西暦奇数年度開講
OADL046	民法演習 III	2	1.0	1・2					債権総論・担保法の分野をはじめとする民法全般における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。民事法の観点から取引上の法的問題を検討し、議論状況を理解することで、民法の知識を深めるとともに、裁判例分析や研究報告の基礎を身に付けることを目標とする。毎回、報告担当者を決め、その者による報告をもとに、受講生全員で議論を行う。	西暦偶数年度開講
OADL047	民法演習 IV	2	1.0	1・2					相続法の分野をはじめとする民法全般における最近のトピックについて、ケーススタディや文献講読などの方法により演習を行う。民事法の観点から取引上の法的問題を検討し、議論状況を理解することで、民法の知識を深めるとともに、裁判例分析や研究報告の基礎を身に付けることを目標とする。毎回、報告担当者を決め、その者による報告をもとに、受講生全員で議論を行う。	西暦偶数年度開講
OADL048	憲法演習	2	1.0	1・2	春B	火7,8	320	鈴木 繁元	現代の憲法学における重要論点について、判例研究や文献講読を通じて考察を深める。憲法判例や学説を深く読み込むことにより、憲法学の基本知識を身につけるとともに、判例分析の手法や研究報告の仕方について学ぶことを目標とする。授業は演習形式で行われ、報告担当者による報告を元に、参加者全員で議論をする予定である。	

(注1) 法学学位プログラム各教員：大淵、岡本、川田、木村、栗原、小林、潮海、平山、藤澤、本田、山中、渡邊、鈴木、松永

(注2) 指導教員から指示された該当者(9月修了者)は 企業法学特別研究I～VIを履修申請すること。

エ 専門科目 【企業関係法】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL201	契約法 I		1.0	1	春A	金7.8	119	岡本 裕樹	民法のうち契約総論と財産権移転型契約に関する講義である。契約総論（契約の意義・成立・効力・終了・変更）や売買等に関する基礎的な知識や理解を得ることを目標とする。主に売買を具体例にしなが ら、条文・判例を中心として解説する。	
OADL202	契約法 II		1.0	1	春B	火7.8	119	岡本 裕樹	民法のうち契約各論に関する講義である。契約法 I で取り扱わない典型契約（消費貸借、使用貸借、質 貸借、雇用、請負、委任、寄託、組合、終身定期 金、和解）に関する基礎的な知識や理解を得るこ とを目標とし、条文・判例を中心として解説する。	
OADL203	消費者取引と法		1.0	1・2				小林 和子	消費者・事業者間取引に対するルールの基礎的な知 識や理解を得ることを目標とし、消費者契約法、割 賦販売法、特定商取引法、製造物責任法、消費者裁 判手続特例法などについて講義する。関連する最新 の裁判例・判例も数多く取り上げる。	西暦偶数年度開講
OADL204	不動産法		2.0	1・2	秋AB	火7.8	119	岡本 裕樹	広義の民法における不動産に関わる規律を、講義形 式で解説する。民法典の構造上、不動産に関わる規 律は散在しており、また、民法典以外にも不動産に 関わる重要な法令があるところ、授業は、関連規律 をトピック的に取り扱い、不動産に関わる司法上の 規律に関する知識を習熟させることを目的とする。 具体的には、不動産の売買、不動産物権変動、不動 産登記制度、不動産の所有態様、不動産質貸借、な らびに、サブリースその他の不動産事業について解 説を行う。	
OADL205	担保法 I		2.0	1・2				岡本 裕樹	物的担保のうち、不動産を目的とする担保に関わる 規律を、講義形式で解説する。不動産担保に関する 理解を深めることだけでなく、物的担保に共通する 基礎的な知識を身に付けることも目的としている。講 義では、不動産担保のなかで最も重要な役割を果た している抵当権を中心として、非典型担保である譲 渡担保と仮登記担保、ならびに、典型担保物権であ る質権、先取特権および留置権について、不動産を 対象とする場面における私法上の規律を解説する。	西暦偶数年度開講
OADL206	担保法 II		1.0	1・2				岡本 裕樹	物的担保のうち、動産と権利を目的とする担保に関 わる規律を、講義形式で解説する。これら担保に関 する基礎知識を身に付けるとともに、近時の金融取 引で重要性を増している集合動産・債権譲渡担保の 法的構造の理解を目的とする。講義では、動産と債 権を目的とした譲渡担保を中心として、典型担保物 権である質権、先取特権、留置権、非典型担保であ る所有権留保とファイナンスリース、ならびに、権 利担保としての相殺予約と一括支払システムについ て、解説を行う。	西暦偶数年度開講
OADL207	債権保全・回収法		2.0	1・2	秋学期	集中		小林 和子	主に金銭債務を念頭に置いて、物的担保を除いた、 債権回収の基礎について、講義形式で解説する。債 権者・債務者双方の視点から、債務の弁済に際して の法的留意点の理解を目的とする。具体的には、有 効な弁済の要件、第三者弁済の処理、弁済受領権者 以外の者への弁済の処理、責任財産保全制度として の債権者代位権と詐害行為取消権、人的担保として の連帯債務と保証、ならびに、債権回収手段として も用いられる相殺と債権譲渡について、解説を行 う。	西暦奇数年度開講
OADL208	会社法		2.0	1・2	春BC	金7.8	119	木村 真生子	ガバナンス規整を中心に、会社法の全体像を概観す る。具体的には、「株式会社」の出発点になる「株 式」の意義についてみたあと、会社の運営機構に関 するルール（株主総会、取締役、取締役会、監査 役、監査役会等）、会社の計算、会社の資金調達、 会社の組織変動に関するルール（会社の設立と消 滅、会社の結合と再編）についてみる。制度の趣 旨・目的を理解することを主眼とするが、重要な論 点については判例や学説を取り上げて理解を深め る。授業は講義形式とする。	
OADL209	企業会計法		1.0	1・2					企業会計に関する会社法・金融商品取引法における 法規制、すなわち、一般に公正妥当と認められる企 業会計の慣行ないし基準の意義、資産・負債・純資 産の認識と測定、計算書類（財務諸表）の用語・様 式・作成方法、剰余金の分配規制などを概観する。 連結財務諸表、デリバティブ取引、監査制度なども 対象とするし、中小企業の会計にも注目する。授業 は講義形式とする。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL210	金融商品取引法		1.0	1・2	秋B	金7.8	119	木村 真生子	資本市場や市場関係者の行為を規律している金融商 品取引法の基礎的な概念を学ぶ。「有価証券」の意 義、開示制度及び開示制度を担保する諸制度（民事 責任・監査証明制度等）、企業買収（公開買付に関 するルール）、業規制、インサイダー取引規制など の不正取引規制を主なテーマとする。情報開示制 度や投資者保護に関する重要な論点については、裁 判例や学説を取り上げて理解を深める。授業は講義 形式とする。	非常勤講師

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL211	民事訴訟法		2.0	1・2	春AB	土4,5	119	大淵 真喜子	民事訴訟法の基礎理論・手続内容について概説するとともに、重要な理論的問題に関する判例・学説についても解説する。第一審の審理手続を中心とする。第一審を中心とする民事訴訟手続の全体構造に関して基本的な理解・知識を得ることを目的として、手続上の基本概念とこれに関する理論上の諸問題、重要判例について講義を行うことを中心とするが、実務的側面についても適宜触れる予定である。主として法学未修者を念頭に置いて講義を進める予定である。なお、多数当事者訴訟・複数請求訴訟及び上訴・再審については、上級民事訴訟法で取り扱うこととする。	
OADL212	上級民事訴訟法		1.0	1・2				大淵 真喜子	上訴審での手続および再審手続を中心として、民事訴訟法における主要な理論的問題について判例・学説を解説し、より掘り下げた検討を行う。民事訴訟法で取り扱わなかった多数当事者訴訟・複数請求訴訟、上訴・再審、特別訴訟等について講義する。民事訴訟手続全体についてより深い知識・理解を取得することを目的とする。受講生に民事訴訟法に関する一通りの基本的理解があることを前提として講義を進めるので、受講生は何らかの形で民事訴訟法を履修していることが望ましい。	西暦偶数年度開講
OADL213	民事執行・民事保全法		1.0	1・2				大淵 真喜子	民事執行法及び民事保全法について、各手続の概要を講義するほか、重要な理論的問題についても解説する。前半に民事執行法、後半に民事保全法につき講義する。民事執行法については、民事強制執行・担保執行総論のほか、不動産強制競売・担保競売、動産執行、権利執行その他の各論についても基本的構造を理解することを目的として講義を行い、重要判例についても検討する。民事保全法については、保全命令発令手続を中心に講義する。民事訴訟法に関する基礎的知識があることを前提とするため、受講生は民事訴訟法を履修していることが望ましい。	西暦偶数年度開講
OADL214	倒産処理法		2.0	1・2	秋AB	火7,8	320	大淵 真喜子	破産法及び民事再生法について、基礎理論について概説するとともに重要問題の検討を行う。破産法及び民事再生法についての基本的理解・知識を得ることを目的として、各手続の具体的内容、基礎的な理論上の問題点等について講義を行うことを中心とする。講義前半に破産法、講義後半に民事再生法を講義する予定であり、会社更生法については原則として取り上げない。いわゆる倒産実体法の部分については、破産法と民事再生法とで共通する部分を破産法でまとめて取り扱い、民事再生法では、破産法と異なる部分を中心に講義する。民法の基礎知識があることを前提として講義を進めるので、民法の基礎知識(特に債権総論、債権各論、担保物権等)があることが望ましい。	西暦奇数年度開講
OADL215	商事法研究 I		1.0	1・2				木村 真生子、 山中 利晃	原則として直近の西暦奇数年度の商事判例(前年度以前に商事法研究IIで取り上げた裁判例は対象外とする)について、参加者が報告し、参加者が討論を行う。原則として日曜日または休日に開催する予定である。授業は演習形式とする。	西暦偶数年度開講。 原則として日曜日の10:00-12:00。 具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載
OADL216	商事法研究 II		1.0	1・2	通年	応談		木村 真生子、 山中 利晃	原則として直近の西暦偶数年度の商事判例(前年度以前に商事法研究Iで取り上げた裁判例は対象外とする)について、参加者が報告し、参加者が討論を行う。原則として日曜日または休日に開催する予定である。授業は演習形式とする。	西暦奇数年度開講。 原則として日曜日の10:00-12:00。 具体的な開講日は学位プログラムHPに掲載
OADL217	支払決済法		1.0	1・2	春B	月7,8		弥永 真生	手形・小切手、クレジット・カード、電子マネー、デビット・カード、一括支払システム、電子記録債権などをめぐる法律問題を取り上げる。可能なかぎり、裁判例や約款の内容にも言及することとする。授業は講義形式とする。	西暦奇数年度開講 非常勤講師

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL218	民事法研究 I		2	1.0	1・2			岡本 裕樹、 小林 和子	民事法上の近時の重要な問題について、参加者の報告をもとに、研究会形式で討論を行う。民事法に関する基礎知識を有していることを前提として、共通専門科目の演習科目よりも高度な検討を行うものとし、民事法上の知識を深め、研究能力を高めることを目的とする。参加者は、最低1度の報告を担当し、最新裁判例を対象とした裁判例研究等を行う。授業は演習方式とする。	西暦偶数年度開講 開講時間は月に一度、日曜日の13:30-17:00を予定。開講日はmanabaにて掲示。
OADL219	民事法研究 II		2	1.0	1・2	通年		岡本 裕樹、 小林 和子	民事法上の近時の重要な問題について、参加者の報告をもとに、研究会形式で討論を行う。民事法に関する基礎知識を有していることを前提として、共通専門科目の演習科目よりも高度な検討を行うものとし、民事法上の知識を深め、研究能力を高めることを目的とする。参加者は、最低1度の報告を担当し、学位論文に関する研究報告等を行う。授業は演習方式とする。	西暦奇数年度開講。開講時間は13:30-17:00予定。開講日はmanabaにて掲示。
OADL220	相続法		1	1.0	1・2	秋C	火7,8	121 岡本 裕樹	自然人が死亡した場合の財産処理を目的とした相続制度について、基本となる法定相続と、その修正を主たる内容とする遺言相続を検討対象として、相続に関する基本的な知識を身につけるとともに、判例などを素材として法定相続・遺産相続をめぐる解釈問題を検討する。	
OADL221	信託法		1	1.0	1・2	夏季	集中	119 伊庭 潔	信託法の基礎的な理論について検討する。また、新しい信託法の活用例、近時の信託判例についても言及する。	非常勤講師 8/2, 9, 23, 30, 9/13 4・5限 8/23は2F講義室6
OADL222	M&A法		1	1.0	1・2				M&Aについて、その目的や方法等の基本的事項を概観した上で、M&Aの具体的なスキームや実務的対応事項、M&A契約等について解説を行う。また、特に上場会社で問題となる公開買付規制（TOB規制）、非公開化のスキームに加え、近時、増加傾向にある敵対的買収や敵対的買収防衛策についても最新の傾向や法的論点を紹介する。関連法令としては、民法、会社法、金融商品取引法が中心となる。	非常勤講師 2025年度開講せず
OADL223	中小会社法		1	1.0	1・2				公開会社ではない株式会社及び持分会社をめぐる会社法上の問題を概観する。定款自治の限界についてもふれることとする。	西暦奇数年度開講 非常勤講師 2025年度開講せず
OADL224	金融法		1	1.0	1・2				銀行取引(貸付、預金、決済、付随業務等)における基本的な法的問題を概観したうえ、近時の立法、判例、学説、業規制・金融当局監督、コーポレートガバナンスの動向や、最先端の商品・取引を参照しつつ、実務・理論の双方から、我が国の金融法の課題を論じる。基本的な民商法・金融の知識を習得していることが望ましいが、必須ではない。	西暦偶数年度開講 非常勤講師
OADL225	保険法		1	1.0	1・2	秋A	木7,8	武田 涼子	現代の取引社会において、保険に関する基礎的な専門知識は不可欠である。保険契約と保険法に関する制度を理解し、社会生活や実務上の取引において、文献や判例をどのように調査・分析すべきか、講義においても検討を加えて、特に、保険に特有な制度や、保険を取り巻く法の趣旨についての理解を深めることで、実務に役立つよう、保険に係る深い知識を前提とした応用力を育成する。	西暦奇数年度開講 非常勤講師
OADL226	事業承継法		1	1.0	1・2	秋A	土4,5	119 園部 洋士・高橋 良裕・伊庭 潔・鶴巻 暁・仲 卓真	高齢化が進むわが国において、中小企業の円滑な事業承継を実現することは喫緊の課題である。一方で、事業承継は会社法、相続法、信託法などの複数の実定法と手続法が交錯する領域であるために一体的な理解がむずかしい。本講義では、会社の事業承継に精通した実務家と研究者からなるリレー講義により、事業承継の問題を総合的に検討する	非常勤講師

エ 専門科目 【国際ビジネス法】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL301	国際私法		1	3.0	1・2	春ABC	木7,8	117 藤澤 尚江	国際私法(財産法・家族法)に関して、講義形式で解説し、基礎的な知識や理解を得ることを目標とする。国際私法は、国際的な法律関係において生じる異なる法律の抵触という問題に解決を与えようとするものである。国際裁判管轄等については、本授業では扱わない。	
OADL302	国際取引法		1	2.0	1・2				企業活動のグローバル化を背景として、国際取引の諸相とダイナミズムを法的側面から探りつつ、現代の国際取引法の基礎理論を学び、その応用としての現実の国際取引の多様な形態を検討する。授業は講義形式とする。	2025年度開講せず
OADL303	国際経済法		1	1.0	1・2				戦後の国際貿易体制の軸となったGATTとそれを承継したWTOの法と制度を中心に講義する。GATT/WTOの紛争処理手続の下で扱われた事例を検討していく。授業は講義形式とする。	2025年度開講せず
OADL304	ヨーロッパ契約法		1	1.0	1・2	秋A	木7,8	117 小林 和子	契約法に関するヨーロッパの規定に関する理解を深めることを目標とする。日本法との考え方の共通点や相違点について考える。授業は講義形式とする。	西暦奇数年度開講
OADL305	国際民事訴訟法		1	1.0	1・2	秋B	木7,8	117 藤澤 尚江	国際民事訴訟法に関して、講義形式で解説する。国際民事訴訟法の基礎的な知識や理解を得ることを目標とする。国際取引に関する訴訟法上の問題、特に国際裁判管轄、外国判決の承認等について学ぶ。	
OADL306	応用独占禁止法		1	1.0	1・2	秋C	土6,7	320 平山 賢太郎	外国独占禁止法(競争法)の概要、グローバルに議論されている先端的論点(デジタルプラットフォーム規制・知的財産権濫用規制・政府規制と独占禁止法の関係等)について、日本法と比較しながら講義形式で授業を行う。	

エ 専門科目 【知的財産法】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL401	著作権法Ⅰ	1	2.0	1・2				潮海 久雄	情報化時代において著作権法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち創作法の分野に属する著作権法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。授業は講義形式とする。	西暦偶数年度開講 著作権法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。
OADL402	著作権法Ⅱ	1	2.0	1・2	夏季	集中	117	上沼 紫野	著作権法の全体についての基本的な理解と知識を獲得することを目的として、解説を中心とした形式で講義を行う。具体的には、著作権法の目的、制度構造、保護対象、著作権(支分権)の各内容、権利侵害の判断手法と権利制限、著作者、著作権のライセンスと集中管理、著作者人格権、著作隣接権の概要、等について一通りの理解を得ることを目指す。さらに、時間的に可能な範囲で、至近の裁判例や立法の動向や学説上の議論についても適宜紹介・検討する。	西暦奇数年度開講 非常勤講師 7/30, 8/6, 8/11, 8/13, 8/20, 8/27, 9/3, 9/10, 9/17, 9/24 7, 8限 9/24は320講義室
OADL403	特許法Ⅰ	1	2.0	1・2					特許法に関して、具体的な裁判例等を素材に、実務での経験談もまじえながら、出願から権利化まで、各種制度、審決取消訴訟、特許侵害訴訟などについて、実務上必要な事項をわかりやすく解説する。	西暦偶数年度開講 非常勤講師
OADL404	特許法Ⅱ	1	2.0	1・2	春AB	土2,3	320	潮海 久雄	情報化時代において特許法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち創作法の分野に属する特許法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。新しい問題についても検討する。授業は講義形式とする。	西暦奇数年度開講 特許法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。
OADL405	不正競争防止法	1	1.0	1・2	秋学期	集中		相良 由里子	市場における競争秩序に関する規制法として近年益々重要性を増しつつある不正競争防止法は、標識の法的保護体系とそれ以外の法的保護体系(商品形態、営業秘密、その他)に大別される。ここでは、その全体構造について概観し、重要事項についての基本的な理解を得ることを目的とする。講義形式による解説を中心とする。	西暦奇数年度開講 非常勤講師 日程は確定次第、在学生向けサイトに掲載
OADL406	商標法	1	1.0	1・2	春C	土2,3	320	潮海 久雄	情報化時代において商標法の知識が必要となっている。知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)のうち商標法の分野に属する商標法の基本的な考え方を身につけることを目的とする。新しい問題についても検討する。授業は講義形式とする。	商標法が収録されている六法を持参すること。受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。
OADL407	デザイン法	1	1.0	1・2					日本におけるデザイン保護法制の主な柱である、意匠法及び不正競争防止法(商品形態の保護)を中心として基本的な知識を得るとともに、デザインという切り口から法的な取扱いを理解できるような思考の涵養を目指す。講義形式による検討を中心とするが、参加人数によっては適宜、判例演習のようなゼミ形式の導入も考えられる。	西暦偶数年度開講 非常勤講師
OADL408	国際知的財産法	1	1.0	1・2				潮海 久雄	情報化時代において知的財産法の国際的側面について知識が必要となっている。知的財産法の条約、協定および、国際私法の側面(管轄、準拠法等)を含めて国際的に生じている問題について討論し、その基本的な考え方を身につけることを目的とする。新しい問題についても検討する。授業は講義形式とする。	受講対象者は、特に知的財産法を研究分野とする者に限らず、広く他の法分野専攻者も対象とする。 2025年度開講せず
OADL409	エンタテインメント法	1	1.0	1・2						非常勤講師 2025年度開講せず
OADL410	ライセンス契約法	1	1.0	1・2	秋AB	土2	320	潮海 久雄	知的財産(特許権、著作権、商標権、営業秘密ほか)のライセンスに関する現代的な問題について理解し考察できるようになることを目標にする。知的財産法の基礎的な知識を有することが望ましい。	

エ 専門科目 【社会・経済法】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL501	労働判例研究 I	2	1.0	1・2				川田 琢之、 渡邊 絹子	報告者による報告と参加者による質疑・討論を行い、労働法・社会保障法上の理論上・実務上重要な問題及び、こうした問題を解決するための労働法規・法理論の運用のあり方についての理解を深めるとともに、判例分析の手法に習熟する。労働法・社会保障法分野において理論上・実務上の重要な意義を有する、あるいは、理論上・実務上の問題を提起する最近の判例・裁判例の中から、参加者にテーマを選択して、当該事件の事実関係、判旨、裁判所の判断の理論上・実務上の位置づけや意義、その妥当性について報告してもらい、当該報告をもとに質疑・討論を行う。授業は演習形式とする。労働判例研究IIと共通コンセプトの科目であるが、研究対象とする判例はその時点での最新のものの中から選定する結果、毎年異なるものとなるので、具体的な授業内容は労働判例研究IIとは異なったものとなる。	西暦偶数年度開講 開講時間はすべて土曜日 15:10-17:50。開講日は manaba、法学学位プログラム webサイト等で確認すること。 労働法判例研究IIと同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。各回で取り上げる報告対象は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。
OADL502	労働判例研究 II	2	1.0	1・2	通年	応談		川田 琢之、 渡邊 絹子	報告者による報告と参加者による質疑・討論を行い、労働法・社会保障法上の理論上・実務上重要な問題及び、こうした問題を解決するための労働法規・法理論の運用のあり方についての理解を深めるとともに、判例分析の手法に習熟する。労働法・社会保障法分野において理論上・実務上の重要な意義を有する、あるいは、理論上・実務上の問題を提起する最近の判例・裁判例の中から、報告者が報告対象を選択し、当該事件の事実関係、判旨、裁判所の判断の理論上・実務上の位置づけや意義、その妥当性について報告した後、当該報告をもとに質疑・討論を行う。労働判例研究 I と共通コンセプトの科目であるが、研究対象とする判例はその時点での最新のものの中から選定する結果、毎年異なるものとなるので、具体的な授業内容は労働判例研究 I とは異なったものとなる。 授業は、演習形式で行う。	西暦奇数年度開講 開講時間はすべて土曜日 15:10-17:50。開講日は manaba、法学学位プログラム webサイト等で確認すること。 「労働法判例研究 I」と同様のねらいを持った科目であり、両科目を隔年で開講する。各回で取り上げる報告対象は両科目で異なるものとし、どちらを先に受講してもよい。労働法・社会保障法分野のテーマで修士論文を執筆する予定の院生は、2年間で両科目を履修することが望ましい。
OADL503	労働関係法	1	3.0	1・2	春ABC	水7.8	320	川田 琢之	労働契約法、労働基準法、労働組合法等の法律や、関連する判例法理等によって構成される労働関係法の主要な内容について体系的に講義する。講義を中心とし、労働関係法を構成する法令、判例、法理論について、その全体像を体系的に把握、理解することを目指す。授業時間の一部は、配布資料を用いた質疑、討論に充て、労働関係法上の主要な問題のいくつかについて、更なる理解の促進を図る。	
OADL504	社会保障法	1	3.0	1・2	春ABC	木7.8	320	渡邊 絹子	近年の社会保障制度改革の動向を踏まえながら、年金保険、医療保険、介護保険、労働保険といった社会保障法のほか、公的扶助や社会福祉に関する諸制度について、各制度の仕組み・内容、制度構築に関する基本的な考え方、法理論上の問題等について理解することを目的とする。授業は、時に受講者との議論を交えるなど双方向での展開を予定していることから、受講者には授業での積極的な発言が求められる。授業は講義形式とする。	
OADL505	独占禁止法 I	1	2.0	1・2	秋AB	金7.8	117	平山 賢太郎	独占禁止法（主に不公正取引規制）について、講義形式で授業を実施する。	
OADL506	企業の組織・活動と労働法	1	1.0	1・2	秋AB	水7	320	川田 琢之	講義を中心とし、一部に配布資料を用いた質疑・討論を行う形式で、労働関係法のうち、企業法務一般の見地から重要度が高いと考えられるいくつかの問題について、問題の内容や、関連する判例、労働法理論のあり方についての理解を深める。 授業の前半では、合併、事業譲渡、会社分割等の会社の組織の変動に伴う労働法上の問題、後半では、企業活動上の法令順守という観点から重要と考えられる労働法上の問題の中から、開講時点における社会的関心の状況等を考慮していくつかの問題を取り上げ、講義する。授業時間の一部は、配布資料を用いた質疑、討論に充てる。 授業は、講義形式で行う。	
OADL507	社会保障法の現代的課題	1	1.0	1・2	秋C	木7.8	320	渡邊 絹子	所得保障の役割を担う諸制度（公的年金、企業年金等）の概要を講義を通じて把握した上で、公的年金制度を中心とする近時の改正議論等を踏まえ、所得保障法制をめぐる各種課題について検討することを目的とする。授業では、各種論点について、受講者による議論の時間を設けるため、受講者には授業での積極的な発言が求められる。	
OADL508	独占禁止法 II	1	1.0	1・2	秋C	金7.8	320	平山 賢太郎	独占禁止法（主にカルテル規制及び企業結合規制）について、講義形式で授業を実施する。	
OADL509	経済刑法	1	1.0	1・2						非常勤講師 2025年度開講せず

エ 専門科目 【税法】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OADL601	実務租税法	1	3.0	1・2	春ABC	水7,8	119	栗原 克文	実務上の観点から、租税法の制度・理論及び重要論点の解釈・適用について体系的に論じる。租税法総論を裁判例を踏まえて学習した後に、租税実税法（法人税法及び所得税法）に関して、制度・理論を理解した上で主要な裁判例を題材に学習していく。講義を中心として進行するが、受講者の討議を求める。	
OADL602	租税法研究 I	2	1.0	1・2				本田 光宏、栗原 克文	報告者による報告と、参加者による討論を行い、租税法の現代的な論点につき、最新の研究成果を基に、理解を深める。租税法の現代的な論点（基本原則・所得税法・法人税法・相続税法・消費税法・国際課税法等）につき、報告者が研究報告を行い、その後参加者が討論を行う。授業は演習形式とする。	西暦偶数年度開講 開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。
OADL603	租税法研究 II	2	1.0	1・2	通年	応談		本田 光宏、栗原 克文、松永 真理子	租税法研究を進展させるに当たり必要となる重要かつ高度な論点等について、演習形式で学ぶ。内外の租税制度や税務行政に関する近年の動向、判例、税制改正等も演習の対象に含めて、租税法研究の全体的・体系的な進展を図ることを目標とする。	西暦奇数年度開講。開講時間はすべて14:00-16:00。開講日は専攻HPに掲載。
OADL604	租税手続法	1	1.0	1・2	春AB	土6	119	本田 光宏	納税義務の成立・税額の確定、是正手続、附帯税の賦課要件、更正・決定等の重要論点について、最近の裁判例を踏まえて論じる。具体的なケースや判例等を素材としてディスカッションを取り入れることにより、租税手続法に関する理論と実務の双方の観点から考察する思考方式を涵養することを目指す。授業は講義形式とする。	
OADL605	租税計画 I	1	1.0	1・2	春AB	金7	117	松永 真理子	近年の租税法上における論点（主に法人税法）について、税務会計学からのアプローチを意識しながら論じていく。授業は講義形式とするが、報告者による報告も実施する。	
OADL606	国際課税法 I	1	1.0	1・2	春C	土2,3	119	本田 光宏	経済のグローバル化の中で重要性の高まっている国際租税制度について、近年の動向等を踏まえて論じる。具体的には、国内源泉所得、恒久的施設、外国子会社合算税制、移転価格税制、過少資本税制・過大支払利子税制、外国税額控除制度等を取り上げる。授業は講義形式とする。	
OADL607	国際課税法 II	1	1.0	1・2	秋A	土2,3	119	本田 光宏	国際租税制度の法源の一つである租税条約に関して、趣旨・目的、基本原則、個々の条文の解釈・適用上の論点を中心に学習する。授業においては、具体的なケースや判例等を素材としてディスカッションを取り入れることにより、租税法に関する理論と実務の双方の観点から考察する思考方式を涵養することを目指す。授業は講義形式とする。	
OADL608	租税争訟法	1	1.0	1・2	秋AB	土6	119	栗原 克文	違法な課税処分に対する行政上の救済手続（不服申立て）及び司法上の救済手続（取消訴訟等）に関する重要論点について論じる。講義を中心として進行するが、受講者の討議を求める。	
OADL609	国際課税法 III	1	1.0	1・2					国際課税を巡る近年の国際的な議論の動向、我が国における税制改正、国際課税に係る訴訟事案等を紹介し、国際課税における最近の重要な論点を学習する。	非常勤講師
OADL610	消費税法	1	1.0	1・2					・消費税法の基本的な事項を取り上げ、その理解を深める。 ・教科書及び配布資料を基本として、関連条文や法令解釈通達、関連する判例・裁判例等について解説する講義形式の授業を行う。 ・必要に応じて計算問題（小テストを含む）を取り入れる。	非常勤講師
OADL611	アメリカ税法	1	1.0	1・2						2025年度開講せず 非常勤講師
OADL612	中国税法	1	1.0	1・2						2025年度開講せず 非常勤講師
OADL613	実務租税争訟法	1	1.0	1・2						2025年度開講せず 非常勤講師
OADL614	相続税法	1	1.0	1・2					近年相続税法において重要性を増している事業承継税制について、税務、法務及び実務において重要な論点を中心に、事例等を用いて学習し、事業承継に関する実際の実務等を学習する。	非常勤講師 2025年度開講未定

ウ 特定関連科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBDL619	アジア法	1	1.0	1 - 3						2025年度開講せず 非常勤講師

科目対応表

下記科目については科目番号は同一のため、既に単位が付与された場合、履修することはできません。

科目番号	令和7年度以降の科目名	令和6年度以前の科目名	担当教員
0ADL028	独占禁止法演習	経済法演習	平山 賢太郎
0ADL306	応用独占禁止法	外国競争法	平山 賢太郎
0ADL505	独占禁止法 I	独占禁止法	平山 賢太郎
0BDL907	市場経済と独占禁止法	市場経済と競争法	平山 賢太郎

履修方法・修了要件 ビジネス科学研究群 法学学位プログラム（博士前期課程）

1. 履修方法

- (1) 共通専門科目の必修科目群にある企業法学特別研究Ⅰ～Ⅵの6科目6単位が必修。
 (2) 共通専門科目((1)の履修科目を除く)、専門科目(コースの科目を中心に)のうちから24単位以上を履修。
 (3) 以下の科目については、3単位を限度として修了要件となる単位として認められる。
 ・学術院共通専門基盤科目、研究群共通科目(ただし法文献学、ビジネス法入門、コーポレートガバナンス、コーポレートファイナンスについては、上記限度に関わりなく、修了要件となる単位に含めることができる)
 ・他学術院、他研究群、他学位プログラム、他専攻の授業単位(教員会議の議に基づき、教育研究上有益と認められる場合)

法学学位プログラムは大学院学則の15単位限度と異なるので注意すること。

2. 修了要件

- ・30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること(中間報告を行っていることが修士論文の提出要件となる)。
- ・修士論文の本文の標準字数は40,000字～60,000字程度とする。

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門科目	共通専門科目	必修「企業法学特別研究Ⅰ」(1単位) 必修「企業法学特別研究Ⅱ」(1単位) 必修「企業法学特別研究Ⅲ」(1単位) 必修「企業法学特別研究Ⅳ」(1単位) 必修「企業法学特別研究Ⅴ」(1単位) 必修「企業法学特別研究Ⅵ」(1単位)	6
	専門科目【企業関係法コース】	共通専門科目(必修科目を除く)、専門科目(コースの科目を中心に)のうちから24単位以上を履修。	24
	専門科目【国際ビジネス法コース】		
	専門科目【知的財産法コース】		
	専門科目【社会・経済法コース】		
専門科目【税法コース】			
		修了単位数	30
<p>・上表に基づき30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること(中間報告を行っていることが修士論文の提出要件となる)。 ・修士論文の本文の標準字数は40,000字～60,000字程度とする。 以下の科目については、3単位を限度として修了要件となる単位として認められる。 ・学術院共通専門基盤科目、研究群共通科目(ただし法文献学、ビジネス法入門、コーポレートガバナンス、コーポレートファイナンスについては、上記限度に関わりなく、修了要件となる単位に含めることができる) ・他学術院、他研究群、他学位プログラム、他専攻の授業単位(教員会議の議に基づき、教育研究上有益と認められる場合) 法学学位プログラムは大学院学則の15単位限度と異なるので注意すること。</p>			